

【山鹿市の森林状況及び取組状況について】

山鹿市の森林面積は、総面積の約51%を占めており、水源涵養をはじめ、地球温暖化防止に資する観点からも計画的に森林整備を進めていく必要があります。山鹿市では、森林所有者の皆様を対象に令和元年度から「森林経営管理制度」に基づく意向調査（アンケート調査）を順次実施しています。このアンケート結果を元に杉、ヒノキなどの人工林を抽出し、現地調査を行い、合意形成を図ったうえで森林整備を実施することとしています。

このほかにも、災害発生未然防止のため、林道や作業道において閉塞した暗渠等の浚渫や土砂撤去、通行に支障のある支障木の伐採、舗装材料（生コンクリート）の原材料支給などにも取り組んでいます。

□ 森林経営管理制度に基づく意向調査 〈事業費〉4,466千円

〈第1回目〉 1,298千円 平山地区周辺で実施したアンケート結果に基づく現地調査業務ほか

〈第2回目〉 3,168千円 麻生野地区周辺の5条森林抽出業務ほか

□ 林道・作業道補修支援 〈事業費〉30,325千円

・林道、作業道の支障木伐採 6箇所 2,871千円

・林道、作業道の暗渠浚渫及び土砂撤去 62件 7,420千円

・未舗装林道、作業道のコンクリート舗装（原材料支給）47件 4,118m 20,034千円

□ 基金積立（森林整備等）〈積立金〉3,339千円

■ 【森林環境譲与税導入の効果】

令和4年度に実施した「5条森林の抽出」及び「現地調査」の結果をもとに、翌年度以降に実施するアンケート対象地や現地調査箇所の抽出など森林整備の実施に向け継続して計画します。

また、林道・作業道の補修支援では、土砂撤去や暗渠の浚渫を実施したことで、豪雨による大規模災害の未然防止につながっています。このほか、生コンクリートなど舗装材料の支給支援により、補修整備が完了した路線については木材運搬車などの円滑な通行が確保できています。



(支障木撤去)



(暗渠等浚渫)



(コンクリート舗装)